

縮小社会研究会 第86回研究会



第86回研究会を下記の要領で開催します。今回は現地とオンラインの両方で参加できます。

日時：2025年3月1日（土） 15:00～17:30

会場：同志社大学烏丸キャンパス・志高館110教室

https://www.doshisha.ac.jp/information/imadegawa/karasuma_map/index.html#campusmap

オンライン (zoom) URL <https://us06web.zoom.us/j/86892852905>

ミーティング ID: 868 9285 2905

15:00～16:00 お米と稲作の歴史を振り返り、未来を考える

講師：長谷川浩さん（当会理事）

講演要旨：令和の米騒動でお米の生産流通に注目が集まっている。稲作とお米は長い歴史の中で特別な存在であり続けてきた。それが、今ではパン好きがたくさんいる、和食もお米も家庭ではあまり食べられていない日本になった。食の外部化（商品化）も大きく進んだ。稲作農家の時給は10円で、後継者はわずかしかない。稲作には大量の灌漑水が必要で、灌漑設備の維持管理には多大の労力とコストがかかるが、誰が負担するかも明瞭でない。政策はどうなっているのか。団塊の世代が離農が始まる。未来の国内農業と農村を誰が担うのか、私見を述べる。

16:10～17:30 ワークショップ「SDGs もやもや選手権」

講師：浅利美鈴さん（総合地球環境学研究所・教授、当会理事）

ワークショップ開催にあたって：2030年のSDGs（持続可能な開発目標）の目標年まで、後5年となりました。また、SDGs達成への貢献を一つのミッションに掲げる2025大阪・関西万博の開幕も直前に迫っています。縮小社会への在り方を考える上でも、重要なターニングポイントにあると思います。世界的には、未だ紛争が続き、また、アメリカの状況を含め、先が読めない時代が続いています。そのように、多くの課題と可能性があるからこそ、より対話が求められると考えます。そこで、普段と趣向を変えて、対話を重視した企画を試みたいと思っております。その名も、SDGsもやもや選手権です。日ごろの「もやもや」を持ち寄って、語り合いませんか？解決は無理かと思いますが、何かしら、新しい視点が得られ、また少しでも楽しい時間になればと考えています。

参加費：会員は無料、非会員は500円

参加登録：会員は不要。非会員の方は松久 (h.matsuhisa@shukusho.org) まで連絡願います。

懇親会を18時より烏丸今出川のイーサン（タイ料理 <https://www.esan.jp>）で開催します。会費は3000～4000円。先着25名まで。参加申込の締め切りは2月20日。参加希望者は松久まで連絡願います。

当日14時より縮小社会研究会の第13回総会を開催します。

一般社団法人 縮小社会研究会 e-mail: jimukyoku@shukusho.org HP: <http://shukusho.org/>